

令和2年度事業報告書

社会福祉法人 柏樹会

1. 法人

(1) 理事会

・令和2年5月30日（土）

議案

- 第1号議案 令和元年度社会福祉法人柏樹会の事業報告及び決算報告について
- 第2号議案 令和元年度社会福祉法人柏樹会の監査報告について
- 第3号議案 社会福祉法人柏樹会の令和2年度第1回定時評議員会開催召集日等について
- 第4号議案 社会福祉法人柏樹会就業規則（給与・退職金規程）の一部変更について
- 第5号議案 指導監査（書面審査）の結果報告
- 第6号議案 その他（理事長の業務執行状況報告）

・令和2年10月6日（火）

議案

- 第1号議案 非常用自家発電設備等整備事業の補助金申請及び一般競争入札について
- 第2号議案 自家用自動車購入の指名競争入札について

・令和2年11月28日（土）

- 第1号議案 非常用自家発電設備等整備事業の一般競争入札の結果及び契約について
- 第2号議案 自家用自動車購入の指名競争入札の結果及び契約について

・令和3年3月13日（土）

議案

- 第1号議案 令和2年度施設会計補正予算（案）について
- 第2号議案 令和3年度事業計画（案）、並びに拠点区分会計（ケアハウス・特別養護老人ホーム）の各収支予算（案）について
- 第3号議案 社会福祉法人柏樹会の評議員会開催召集日等について
- 第4号議案 就業規則及び給与・退職金規程の一部改正について
- 第5号議案 その他（理事長の業務執行状況報告）

(2) 評議員会

・令和2年6月14日（日） 第1回定時評議員会

議案

- 第1号議案 令和元年度社会福祉法人柏樹会の事業報告書及び決算報告について
- 第2号議案 令和元年度社会福祉法人柏樹会の監査報告について
- 第3号議案 指導監査（書面審査）の結果報告

・令和3年3月21日（土）

議案

- 第1号議案 令和2年度施設会計補正予算（案）について
- 第2号議案 令和3年度事業計画（案）、並びに拠点区分会計（ケアハウス・特別養護老人ホーム）の各収支予算（案）について

(3) 監事会

・令和2年5月28日（木）

議事

令和元年度社会福祉法人柏樹会の事業報告、決算報告、決算附属明細書及び財産目録についての監査

2. 施設運営報告

(1) ケアハウス部門

入居者の平均年齢も約87.1歳と超高齢となり、入居者が介護保険のサービスを利用しながら生活する機会が増え、入居者の相談業務が今年も重要な業務となった。ケアハウスでは、利用者が気持ちよく共同生活を営むために、利用者間のトラブル等を未然に防ぎ、解決することも重要な任務である。

今年度は世界的に流行している新型コロナウイルス対応が最大の難問となる。手探りの状態で出来る限りの予防措置を実施している現状である。

給食部門については、バイキング料理が大変好評であった。また、行事食も喜ばれた。ケアハウスの場合は70歳台から90歳台まで利用者の年齢差が大きいため、その年齢に合った食事の提供が大変であると共に重要である。

(2) 通所介護部門

利用者の通所介護計画に基づいたサービスの提供をきめ細かに行なう。次月の予定月間サービス予定表を全員に配布した結果が大変好評であった。

(3) 介護老人福祉施設部門

入居者の重度化に伴い、利用者個々に対する個別援助が職員全員に求められるようになり、より専門的な介護技術及び知識が必要になってきた。そのために施設内研修や勉強会の開催に努めた。介護職員処遇改善加算金を得ていることを介護職員に認識させスキルアップに努めた。介護事故防止対策を重点的に行なってきた。

日常業務については、入居者個々の日常生活状況に合わせた介護を行なえるよう努力した。月例職員会議に於いて職員が個別の対応を協議するよう努める。

各委員会が自分たちの活動について積極的に討議するようになった。その結果として少しずつではあるが入居者個々への対応が確実にレベルアップしている。

看護業務については、嘱託医及び協力病院の医師との連携をとりながらきめ細かな看護を行い健康管理に努力する。病院から直接入居する利用者も増えてきたので看護業務も大変になってきました。今年度も感染症に対する勉強会を重点的に行なった。

今年度は世界的に流行している新型コロナウイルス対応が最大の難問となる。手探りの状態で出来る限りの予防措置を実施している現状である。

食事部門についても、個々の摂取量や健康状態を見ながら調理を行い、看護・介護部門と連携を強化しながら献立作成を行なった。また、常食、キザミ食等利用者の摂取能力に合わせた調理方法をとるため調理が大変になってきた。バイキング料理や行事食が利用者に喜ばれた。

(4) 居宅介護支援センター部門

利用者に満足していただける介護計画を作成するために、利用者、家族とサービス提供事業者との打ち合わせに時間を費やす。また、サービス提供者会議の開催も増えたので時間的余裕がないのが難点である。

ケアプラン作成については、利用者の身体状態の変化に応じた介護計画を作成するために、医師や利用者の家族等との連携を強化しながら行なった。

(5) 訪問介護部門

訪問介護事業として、要支援・要介護者にヘルパー派遣業務を行なった。利用者の利用時間帯が重なりやすく、職員の配置の問題が請じる。利用者の人数が限られているため、増員も出来ない。今年も地域柄利用者の確保が大変である。

(6) 地域包括支援センター部門

本庄市からの委託業務として本庄南地域包括支援センター業務を行う。担当区域の高齢者に対する、総合相談支援、権利擁護、介護予防、介護予防・日常生活総合支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を本庄市と連携を取りながら業務を遂行した。

生活支援コーディネーター事業も始まり、市や関連機関と連携を取り合いながら事業を行った。

(7) 生活困窮者に対する相談支援事業

地域の生活困窮者に対して、社会福祉協議会と連携を取り合いながら行なった。社会福祉法人

の使命の業務の為これから充実しなければならない。

3. 実施業務及び施設行事について

(1) 本部組織

- ・理事会の開催 年4回
- ・監査会の開催 年1回
- ・評議員会の開催 年2回
- ・職員健康診断 年2回（夜勤者） 年1回（日勤のみ職員）
- ・ケアハウスサービスの提供に要する費用補助金申請
- ・委託業務に対する委託料請求

(2) 定期検査

- ・消防用設備（特殊消防用設備等）定期検査
- ・建築物・建築設備・エレベーター設備等定期検査
- ・水質等定期検査
- ・浄化槽設備定期検査
- ・電気設備定期検査
- ・レジオネラ菌定期検査
- ・職員定期健康診断
- ・入居者定期健康診断

(3) 施設・事業所の行事

月	ケアハウス	デイサービス	特別養護老人ホーム
4	誕生日会 桜見物 果物販売	誕生日会 桜見物 園芸	誕生日会 桜見物 ホーム喫茶
5	誕生日会 菖蒲湯 果物販売	誕生日会 菖蒲湯 青空おやつ	誕生日会 ホーム喫茶 入居者健康診断
6	誕生日会 バイキング料理 果物販売	誕生日会 ミニ運動会	誕生日会 フルーツバイキング ホーム喫茶
7	誕生日会 七夕祭り 果物販売	誕生日会 七夕祭り	誕生日会 七夕祭り
8	誕生日会 果物販売	誕生日会	誕生日会 ホーム喫茶
9	誕生日会 敬老会 十五夜 消防訓練 果物販売	誕生日会 敬老会 十五夜 消防訓練	誕生日会 敬老会 十五夜 消防訓練 バイキング料理
10	誕生日会 入居者健康診断 十三夜	誕生日会 十三夜	誕生日会 十三夜
11	誕生日会 バイキング料理 果物販売	誕生日会	誕生日会 バイキング料理

1 2	誕生日会 果物販売 クリスマス会 ゆず湯 果物販売	誕生日会 食事バイキング クリスマス会 ゆず湯	誕生日会 ホーム喫茶 クリスマス会
1	新年会 誕生日会 果物販売		新年会 書初め
2	誕生日会 果物販売	誕生日会	誕生日会
3	誕生日会 ひな祭り 果物販売	誕生日会 ひな祭り	誕生日会 ひな祭り

4. 施設の入居者状況等

(1) ケアハウス (シャローム)

(ア) 入居者数

(利用人員は各月初日)

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	46	46	45	45	47	49	49	49	46	45	45	42	554
述べ人数	1380	1406	1350	1395	1447	1470	1524	1445	1410	1379	1188	1313	16707

(イ) 年齢別人数

(令和3年3月31日現在)

年齢	60～	65～	70～	75～	80～	85～	90以上	合計
	64	69	74	79	84	89		
男	0	0	0	2	2	4	3	11
女	0	0	0	2	6	13	11	32

(ウ) 要介護度別人数

(令和3年3月31日現在)

要介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	3	1	1	5	1	1	0	0	12
女	5	4	2	12	2	2	0	0	31

(エ) 平均在所期間及び平均年齢 (令3年3月31日現在)

在所期間 5年4ヵ月

平均年齢 87.1歳

(2) 介護老人福祉施設 (シャローム)

(ア) 入居者数

(各月末日人員)

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	72	71	77	75	75	71	74	73	77	77	77	75	894
延べ人員	2016	2125	2179	2222	2171	2051	2112	2142	2291	2325	2097	2272	26003

年齢別人数 (令和3年3月31日現在)

年齢	60～ 65	66～70	71～75	76～80	81～90	91～	合計
男	2	2	3	5	9	1	22
女			1	8	20	24	53

(ウ) 要介護度別人数 (令和3年3月31日現在)

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	3	8	10	0	22
女	3	7	14	26	3	53
合計	4	10	22	36	3	75
年間延べ人数	124	319	634	1102	93	2272

(エ) 平均在所期間、平均年齢及び平均介護度 (令和3年3月31日現在)

平均年齢 85.8歳
 在所期間 2年3ヶ月
 平均介護度 要介護 3.3

(3) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護 (シャローム)

(ア) 利用者数

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	14	13	12	7	7	11	10	14	14	12	8	12	134
延べ人員	205	235	183	113	129	206	214	183	175	146	118	219	2126

(イ) 要介護別人員

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用人員	1	1	40	42	19	30	1	134
延利用人員	29	3	366	679	337	708	4	2126

5. 在宅サービス利用状況

(1) 通所介護・介護予防通所介護 (シャロームデイサービスセンター)

(ア) 月別延利用人数

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用人員	717	716	738	780	656	728	787	717	701	248	648	748	8187

(イ) 要介護度別延利用人数

要介護度	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
利用人数	32	67	79	456	124	68	32	0	858
延利用人員	128	258	534	4820	1306	914	218	0	8178

(2) 訪問介護・介護予防訪問介護（シャロームヘルパーステーション）

(ア) 月別延利用人数

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用人員	276	285	297	328	263	267	286	273	272	239	230	275	3291

(イ) 要介護度別延利用人数

要介護度	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
延利用人数	25	347	492	1605	323	499	0	0	3291

(3) 居宅介護支援（シャローム居宅介護支援センター）

利用者数

(各月末日人員)

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	89	90	97	79	104	107	120	125	127	126	120	129	1327
予防利用人員	14	14	14	16	16	14	14	14	20	20	21	20	197

(4) 地域包括支援センター（本庄南地域包括支援センター シャローム）

(イ) 総合相談支援事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	34	44	69	65	65	55	76	66	50	37	59	71	691
実態把握	6	8	11	17	18	23	29	27	12	7	20	40	218

(ロ) 権利擁護事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用件数	4	2	3	2	0	4	11	3	2	0	2	1	34

(ハ) 介護予防事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
オレンジカフェ(人数)	0	0	0	5	2	2	10	9	6	0	0	0	34
養成講座									1				1
出前講座								1			1		2
筋力アップ教室							2	1					3
個別相談(人数)					1								1

(ニ) 介護予防支援・日常生活総合支援事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防支援利用者	23	24	25	26	25	24	22	22	22	20	22	25	280
介護予防マネジメント利用者	34	36	33	34	28	31	31	33	31	31	30	29	381

(ホ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
包括的継続的支援(件数)	7	1	2	1	1	3	1	0	0	0	1	1	18
地域ケア個別会議(回数)	0	0	0	2	0	2	2	2	2	1	0	0	11
本庄ケアマネ研修会(人数)							36						36
南圏域ネットワーク会議								1					1

(5) 生活支援コーディネーター事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
協議体開催				1		1	11					1	4
資源把握	1	1	2	0	0	0	3	6	2	0	2	2	19

(6) 生活困窮者支援事業

令和2年度のセーフティネット支援延べ件数 8件
支援人数 4人